

ドイツ2014 ドイツ沖縄県人会

RBC ラジオスペシャル「海を渡る～さんしん」

2014年7月21日ドイツへ衛星放送



三線10丁をドイツ沖縄県人会 崎原永人会長（会員43名）へ

くぬたびや 三線ぬ 寄贈たぼり いっぺーにふえーでびる
くりからなま うふおーくぬ ドイツ生まれぬウチナーンチュ
また ドイツんかい ウチナー文化のちゅらさるくとう つたえんくとう
うむい なまから くぬ三線ちかてい ひろみぶさんで うむとん

崎原永人

フィリピン2015 フィリピン沖縄県人会



首都圏マカティ市 AIM カンファレンスセンターにおいて三線贈呈

フィリピンは戦後、反日感情を恐れ県人子弟に日本語を教えてこなかった。しかも母県とのつながりは薄く、子弟たちは自らのルーツや沖縄の文化芸能も知る由もなかった。フィリピン沖縄県人会には三線が1丁しかなく「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」から三線10丁を贈られ、一世の方は涙を流して喜んだ。

アメリカ2016 北米沖縄県人会

寄贈された三線は初心者や子供向けワークショップ、三線の日、ピクニックパーティー、学校行事、地域のお祝い事など様々な場面で演奏して大変喜ばれています。これらの文化的宝物寄贈に感謝し、南カリフォルニアにおける沖縄文化の継承発展に頑張ります。



三線ワークショップ



三線の日演奏会

ブラジル2016 うりずん会

うりずん会結成38周年・沖縄県費留学研修63年及び市町村研修43周年記念



ライブ三線ワークショップ&コンサート



三線ワークショップにおいて三線指導する大城ブルーナ先生

「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」からの三線のプレゼントにより「うりずん会」の活動目的である沖縄文化の継承と普及に大いに役立ち喜んでいきます。

大城ブルーナ

ペルー2017 ペルー沖縄県人会

三線の音は心の音

ペルーの三線は100年前に初期移民によってもたらせ、困難な時代でも、彼らに安らぎと平和をもたらしました。一時、三線文化は途絶えましたが、沖縄への研修・留学制度のおかげで復活し、沖縄芸能は再び生まれ変わりました。また「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」から三線が贈られ、三線の調べをペルー全土に響き渡らせることができ、祖先の芸能を広めることができます。



ハリー・イサ
沖縄音楽グループ「ハイサイウチナー」代表



アレハンドロ・アフソ



沖縄音楽グループ「ハイサイウチナー」 三線アリガトウネ



ボリビア2018 ボリビア沖縄県人会

伝統継承は正念場を迎える

私は60年余り琉球文化を継承してきましたが、世代交代が進み、ボリビア社会との同化は避けられず、伝統継承は正念場を迎えているところに「世界の兄弟へ三線を贈るプロジェクト」から三線10丁を贈られて、再び子供たちに三線を教えることができ大変喜んでいきます。

比嘉敬光



オキナワ第一日ボ学校三線教室 三線指導 比嘉敬光



故郷から離れても、沖縄の文化を感じるのにはやはり唄・三線、踊り、芝居。今後も沖縄の文化継承に繋がる活動を進めていきます。世界のウチナーンチュの日に寄贈された三線で演奏して南米ボリビアの「オキナワ」で音色を響かせたい。

ボリビア沖縄県人会 比嘉徹会長

2019 ハワイ沖繩連合会

三線は平和の象徴

三線は移住地で過酷な労働に耐え生活基盤を築いてきた一世の心を癒した平和の象徴。

70年前にハワイから沖繩へ豚が送られ、今回は三線が届いた。平和の発信だけでなく、心の交流につながる。ハワイ移民120周年に当たって記念になります。

ハワイ沖繩連合会専務理事糸村ジョージ昌一



三線教室

フランス2020 沖縄欧州文化連合会

フランス全土では、いたるところで三線愛好者が集まり、小さなクラブを結成し三線演奏の風景が見られる。沖縄欧州文化連合会のジル・デュランテ事務局長は「フランスには沖縄文化を学びたいという若者が多くいます。そうした人に広める機会になります」

パリ13区には東南アジアの人々が暮らし、旧正月を祝う盛大なイベントには三線クラブが招待され、大型スクリーンをバックに演奏しました。三線演奏は入江かおり、松田蘭子、中島めぐみ、浅野三矢子、マリージャンヌ・ポーブラン、ジル・デュランテ、アントニオ



フランシカ7人が「かぎやで節」「鶴亀節」「安里屋ユンタ」「繁盛節」「豊年音頭」などを演奏しました。



パリ5区ソルボンヌ4画廊前 三線演奏会